

海外安全対策情報（2021年1月～3月）

1 社会・治安情勢

2018年4月発生 of 社会騒乱後、多発していた反政府派によるデモ等の抗議運動は、話し合いで解決する方向で進んでいること、警察がデモを許可しないこと等から発生しておりません。但し、本年11月には大統領選挙を控えており、選挙戦のプロセスで突発的に反政府派によるデモ、抗議運動等が発生する可能性があります。

また、当地は、「2018年の社会騒乱後の外国資本の撤退」、「新型コロナウイルスの感染症の影響」による慢性的な経済不況に陥っており、失業者が増えていること、更に政府が恩赦により囚人を大量釈放していることも相まって、今後、治安情勢が悪化する可能性があります。

新型コロナウイルスの感染者は、保健省によれば、3月30日までに、感染者総数は累計5,326人、死者は178人となっています。他方、市民監視団体によれば、3月24日までに、感染及び感染疑いのある者の総数は累計13,312人、新型コロナウイルスの感染疑いの症状による死者は3,014人となっています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

慢性的な経済不況に加え新型コロナウイルス感染症の影響による失業者が増加する中、2020年中、政府は一般囚人を大量に釈放しており、今後、治安情勢が悪化する可能性があります。

ニカラグアでは、オートバイ乗りの男二人組による路上強盗、タクシー強盗、バス内での拳銃を使用した強盗、コンビニ強盗が発生しています。犯人は必ず拳銃、刃物等の凶器を携帯し、被害者が抵抗した場合、容赦なく攻撃するので、万が一被害に遭ったときは、絶対に抵抗しないことが重要です。さらに、強盗等の被害事例を分析すると、日時・場所を問わず、路上を歩行中に被害に遭うことが多いため、移動の際には、たとえ短い距離であっても自家用車両を利用することをお勧めします。

また、不在中の住宅に侵入し現金等を窃取する盗難事件が発生しておりますので、現金等の貴重品は確実に金庫等の安全な場所に保管するようお願いいたします。

(2) 邦人被害例

ア 2021年

これまで邦人被害は確認していません。

イ 2020年

● 窃盗（客室狙い）

9月11日（金）午後1時から午後6時半までの間、マナグア市メトロセントロ付近に所在のアパートにおいて、居住者が外出した際、何者かが侵入し、スーツケース在中の現金を盗難。

ウ 2018年・2019年

● 恐喝

2018年3月14日（水）午後8時30分頃、被害者がマナグア市ロス・ロブレス地区の路上を一人で歩行中、前方から来た男に所持していたカバンを渡すよう要求されたため、危険を察知した被害者が即座に鞆を差し出したところ、男は危害を加えることなく、仲間の男と共にオートバイで逃走した。

● 強盗（拳銃使用）

2018年6月6日（水）午後2時30分頃、被害者2名がマナグア市ビジャ・サンタフェ地区の路上を歩行中、後方から来たバイク乗りの二人組に拳銃を突きつけられたた

め、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなくオートバイで逃走した。

● 強盗（刃物使用）

2018年12月14日（金）午後6時頃、マナグア市内のショッピングセンター「ガレリア・サント・ドミンゴ」付近路上を被害者2名が歩行中、若い男ら5、6名が後方から接近し、ナイフを突きつけて脅迫したため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなく走って逃走した。

● 窃盗（置き引き）

2019年10月8日（火）午後4時頃、被害者は、リバス県からコスタリカ行きのバスに乗車し、その際、旅券・現金・パソコン・カード類等在中のリュックサックを網棚に乗せたところ、下車時に盗難被害に気づいたもの。

(3) 1月から3月に発生した凶悪犯罪の例

ア 強盗殺人

1月11日（月）朝、マナグア市モンセニョールレスカノ地区で、会社経営者の男性（75歳）が会社の前で自身の車の車内にいるところをバイクに乗った2人組に4発撃たれ死亡した。

イ バス内における強盗致傷（ナイフ使用）

1月29日（金）午前、マナグアとティピタパ間のバス車内で、2人の男がナイフで乗客の男性（20歳）を脅し携帯電話を奪った。揉み合いの際、男性は左足を刺され負傷した。

ウ バス停における強盗（拳銃使用）

2月10日（水）午前、マナグア市第5管区で38歳の男性が出勤のためバス停留所で待っているところ、近づいてきた男にけん銃を突き付けられて、携帯電話と所持品が奪われた。犯人は被害者に向け発砲し、男性は右足踵を負傷した。同バス停界限では、度々強盗事件が発生しており、警察は犯罪グループの仕業とみて捜査している。

エ 強盗殺人（刃物使用）

2月21日（日）午前零時半頃、マナグア市レパルト・シック地区で、女性（33歳）が8か所刺され出血多量で死亡、女性の夫（36歳）も8か所刺され重体の状況で発見された。女性は夫（36歳）とバーから出て自宅に向かう途中、何者かに携帯電話を奪われナイフで刺されたと思料される。

3 テロ・爆弾事件発生状況

発生なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 邦人・外国人に対する誘拐事件

認知していない。

(2) ニカラグア人に対する誘拐事件

認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業が、当国において直接標的とされた脅迫、破壊行為、嫌がらせ行為等の被害を受け、又はバッシング、デモ等の対象となった事案は発生なし。